

一生懸命 最終章

流山市立おおぐろの森中学校

3学年だより 3月号

令和6年3月1日発行

来週3月8日(金)は卒業式です。9年間の義務教育期間、3年間の中学校生活、2年間のおおぐろの森中学校での生活が終わり、4月からは、生徒一人ひとりが新しい生活へと旅立つこととなります。

この1年間、学年目標は「一生懸命」でした。一生懸命について、辞書をひくと以下のとおりとなります。

全力を尽くして物事をするさま。懸命。一所懸命。(明鏡国語辞典より)

ももとは「一所懸命」から派生した言葉です。「一所懸命」とは、

1、中世、1か所の領地を命をかけて生活の頼みにすること。2、命がけて物事をする事。

学校生活の多くの場面で、生徒たちの「一生懸命」に活動する姿をたくさん見てきました。日頃の授業や学級の係活動では、生徒一人ひとりが自分の目標や学級の目標に向かって取り組むことで、毎日を安心して心地よく過ごすことができるよう最後まで協働していました。部活動や委員会活動では、自分の意思で参加を決めたことに責任をもち、全力で取り組む姿がありました。持っている力を発揮することや幅広い交友関係を広げ、集団の一員として多くのことに貢献しようと頑張っていました。新入生歓迎会や修学旅行、体育祭、合唱コンクールなどの行事では、行事の目的や行事後の成長した自分たちの姿を想像し、一生懸命に取り組んでいました。どの行事も学校のリーダーとして全体を牽引し、おおぐろの森中の伝統を創り上げていきました。皆が楽しみ、熱中することでたくさんの感動を生みだしました。

毎日の学校生活を過ごすことができたのは、毎朝送り出してくださった保護者の皆様の御協力があったからだと感じています。この場を借りて、御礼申し上げます。

学年職員からのメッセージ

進路指導主任・3年担任 坂本

ご卒業おめでとうございます。開校から2年間、とても楽しい時間をありがとうございました。

世の中にあるたくさんの便利なものは、科学者の「知りたい」という好奇心が基になっています。知りたいという気持ちから科学は発展していき、科学者たちの残した成果から、私たちの身の回りにあるパソコンやスマホ、医療、産業などに使われる技術が生まれてきました。科学にとって大事なものは、「すぐに役に立つことはないけれど、誰かが社会にとって役に立つ何かを生み出す基礎になるかもしれない」ということです。ぜひ、理系に興味がある生徒は、そんなことを頭の隅に置いてもらえたらいいなって思います。中学校で学んだ理科ができなくても、人は幸せになれます。だけど、少し理科を知っていることで、より生活が豊かになります。勉強でなくとも、理科を身近に感じてもらえたら嬉しいです。

最後に、これからの人生、近道や無駄はありません。無駄や遠回りも視点を変えたら大切なものを得られる時間です。前向きな考え方で、夢に向かって頑張ってください。応援しています。ありがとうございました。

3年担任 飯塚

ご卒業おめでとうございます。私は自分の人生を振り返った時に、無駄なことは一つもなかったなと思います。上手くいかなくて落ち込んでも、思い通りの道が開けなくても、振り返るとちっぽけで、今の自分にとっては経験値となって大きな収穫にさえ感じています。どうしようか迷ったら楽しそうな方を選んでください。

大好きなこの学年の生徒、保護者の皆さまと過ごした日々は、私の宝物です。全員がこの先、夢に向かって充実した毎日が過ごせますように。ありがとうございました。

学年主任・3年担任 上澤

ご卒業おめでとうございます。大好きな3年生のみんな。この3年間で濃く・熱く・刺激的な日々を送れました。ありがとうございます。

「言葉」って「包丁」と同じです。いろんな種類があって、使い方も様々で、とっても便利なものだけれど、使い方を間違えると人も自分も激しく傷つけてしまいます。でも、ないと生きてはいけない。誰かに刃を向けたら自分にも返ってきます。だからこそ、考えて考えてどう使うのかを探っていくしかないんです。失敗して、傷ついてしまうときもあるけれど、そんなときは、かさぶたになるのを待ってから、また次の一歩踏み出してほしいと思います。みなさんの周りが愛あふれる言葉で囲まれることを願っています。保護者の皆様からいただいた温かい励ましの言葉忘れません。ありがとうございました。

3年担任 八藤後

2年間、英語の授業はどうでしたか？何かしら身に付いた、退屈な時間ではなかったと少しでも思えてもらえたのなら嬉しいです。バレー部はどうでしたか？辛く、苦しい時もあったと思いますが、厳しい中でも本気で物事に取り組むことや、勝負ごとに勝つことの楽しさを感じたのなら幸いです。おおぐろ中での2年間は どうでしたか？激動の時期であったでしょう。様々な葛藤もあったでしょう。

私は以上3つの問いに、「楽しかった！」と胸を張って答えます。本当に充実した2年間でした。この学年だより初号で「あらゆることに全力で取り組みます」と誓いました。文字通り全力で過ごした2年間になりました。なぜ、一生懸命になれたのか。生徒皆さんの、そして保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。

こぶし学級担任 杉本

皆さんと初めて出会ったのは、2年生になる時でした。新設校で自分も友達も先生も皆が新しい環境で、不安もあったことでしょう。しかし、皆さんは立派に新しい学校を作ったと感じています。おおぐろ中初めての林間学園、グロースクール。そして、次の年には修学旅行にも同行させていただきました。皆さんの心の温かさと行動力に触れることができ、とてもすてきな宿泊学習でした。こぶし・けやき学級の皆さんとの水遊びやハロウィン、クリスマスパーティー、校外学習、最高に楽しかったです。皆さんとの出会えたこと、本当にうれしく思っています。これからも自分の良さを大切にして、たくさん活躍してください。ご卒業おめでとうございます。

3年副担任 池田

4月の学年だよりに「数学という教科を通して生徒たちの笑顔が多く見られるよう頑張っていきます」と書きましたが、ほんの少しでもそんな瞬間があったらうれしいです。高校生になると、途中から数学という教科を学習しなくなる人もいるかもしれませんが、数にふれる機会はあらゆるところに存在します。勉強としてではなくても構いませんので、少しでも数というものに興味を持ってくれたらと思っています。保護者の皆様には、この1年間、様々なところでご協力いただきましたことに御礼申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

3年副担任 佐藤

ご卒業おめでとうございます。1年間、社会の授業を通して、みなさんの活動する姿や発想力豊かな一面をみて、楽しく過ごすことができました。卒業後は、夢に向かって過ごしていく中で、社会の一員としていくつもの課題に向き合うことと思います。仕組みや制度を理解したり、多くの人の立場を考え行動したりと、何が正しいのかと迷う場面がいつか訪れます。その時には、じっくり考え、自分の大切な人や将来の姿を想像し、よりよい自分に近づくことができるよう行動してください。これからの流山、日本を背負って立つみなさんがいつまでも元気でいられることを願っています。ありがとうございました。